

【セレキシブ錠 200mg 「ケミファ」】
無包装状態における安定性に関する資料

日本ケミファ株式会社

● 目的

セレコキシブ錠 200mg「ケミファ」の無包装状態での安定性を確認するため試験を実施した。

● 保存条件

- (1) 温度 : 40±2℃、3 ヶ月、遮光・気密容器（ガラス瓶）
- (2) 湿度 : 25±2℃、75±5%RH、3 ヶ月、遮光・開放（褐色ガラス瓶に入れ、口をアルミ箔で軽く覆う）
- (3) 光 : 総照度 120 万 lx・hr、成り行き温・湿度、気密（シャーレ、上部をラップで覆う）

● 試験項目

性状、溶出性、定量法、純度試験（類縁物質）、硬度※
※本剤には硬度の規格が設定されていないため、「錠剤・カプセル剤の無包装状態での安定性情報 改訂 6 版（医薬ジャーナル社）」の評価基準（下表）に従い、硬度を評価した。

分類	評価基準
変化なし	硬度変化が 30%未満の場合
変化あり（規格内）	硬度変化が 30%以上で、硬度が 2.0kg 重以上の場合
変化あり（規格外）	硬度変化が 30%以上で、硬度が 2.0kg 重未満の場合

2.0kg 重＝19.6N

● 結果

(1) 温度に対する安定性

試験項目		規格	開始時	1 ヶ月	2 ヶ月	3 ヶ月
性状		白色の割線入りの だ円形の素錠	白色の割線入りの だ円形の素錠			
溶出性 (溶出率：%)		30 分間の溶出率が 75%以上	81.7～84.6	82.3～86.0	81.2～86.8	83.2～87.4
定量法 (含量：%)		95.0～105.0%	100.39～ 100.83	100.76～ 101.22	100.09～ 100.38	100.67～ 100.71
純度試験 (類縁物質 含量※：%)	個々の 最大類縁物質	参考値	<LOD～ <LOQ	<LOQ～ 0.07	<LOD	<LOD～ <LOQ
	総類縁物質		<LOD～ <LOQ	<LOQ～ 0.07	<LOD	<LOD～ <LOQ
硬度 (N)		参考値 (最小値～最大値)	128～139	139～153	140～157	145～160
		平均値 [変化率 (%)]	132 [0]	145 [+10]	150 [+14]	150 [+14]

※標準溶液のセレコキシブのピーク面積を 0.2%として算出
表中の数値は、性状については 1 回の測定値を、溶出性、定量法、純度試験、硬度については最小値～最大値を表す。
<LOD：検出限界（0.025%）未満
<LOQ：定量限界（0.05%）未満

(2) 湿度に対する安定性

試験項目		規格	開始時	1 ヶ月	2 ヶ月	3 ヶ月
性状		白色の割線入りの だ円形の素錠	白色の割線入りの だ円形の素錠			
溶出性 (溶出率：%)		30 分間の溶出率が 75%以上	80.8～84.1	83.1～85.2	83.4～86.2	83.8～85.5
定量法 (含量：%)		95.0～105.0%	98.68～ 99.71	98.54～ 99.37	100.01～ 100.41	99.80～ 100.48
純度試験 (類縁物質 含量※：%)	個々の 最大類縁物質	参考値	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
	総類縁物質		<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
硬度 (N)		参考値 (最小値～最大値)	141～171	142～163	140～157	138～163
		平均値 [変化率 (%)]	154 [0]	153 [-1]	151 [-2]	151 [-2]

※標準溶液のセレコキシブのピーク面積を 0.2%として算出

表中の数値は、性状については 1 回の測定値を、溶出性、定量法、純度試験、硬度については最小値～最大値を表す。

<LOD：検出限界（0.025%）未満

(3) 光に対する安定性（温・湿度：成り行き）

試験項目		規格	開始時	総照度 60 万 lx・hr	総照度 120 万 lx・hr
性状		白色の割線入りの だ円形の素錠	白色の割線入りの だ円形の素錠		
溶出性 (溶出率：%)		30 分間の溶出率が 75%以上	81.7～84.6	82.5～84.9	80.2～83.8
定量法 (含量：%)		95.0～105.0%	100.39～100.83	100.72～101.33	100.70～101.06
純度試験 (類縁物質 含量※：%)	個々の 最大類縁物質	参考値	<LOD～<LOQ	<LOQ	<LOD
	総類縁物質		<LOD～<LOQ	<LOQ	<LOD
硬度 (N)		参考値 (最小値～最大値)	128～139	137～152	129～148
		平均値 [変化率 (%)]	132 [0]	145 [+10]	141 [+7]

※標準溶液のセレコキシブのピーク面積を 0.2%として算出

表中の数値は、性状については 1 回の測定値を、溶出性、定量法、純度試験、硬度については最小値～最大値を表す。

<LOD：検出限界（0.025%）未満

<LOQ：定量限界（0.05%）未満

● 結論

セレコキシブ錠 200mg「ケミファ」の無包装状態における安定性を確認するため試験を実施した結果、いずれの条件においても、問題となる変化は認められなかった。

日本ケミファ株式会社：無包装状態における安定性に関する資料（社内資料）

2020 年 2 月作成